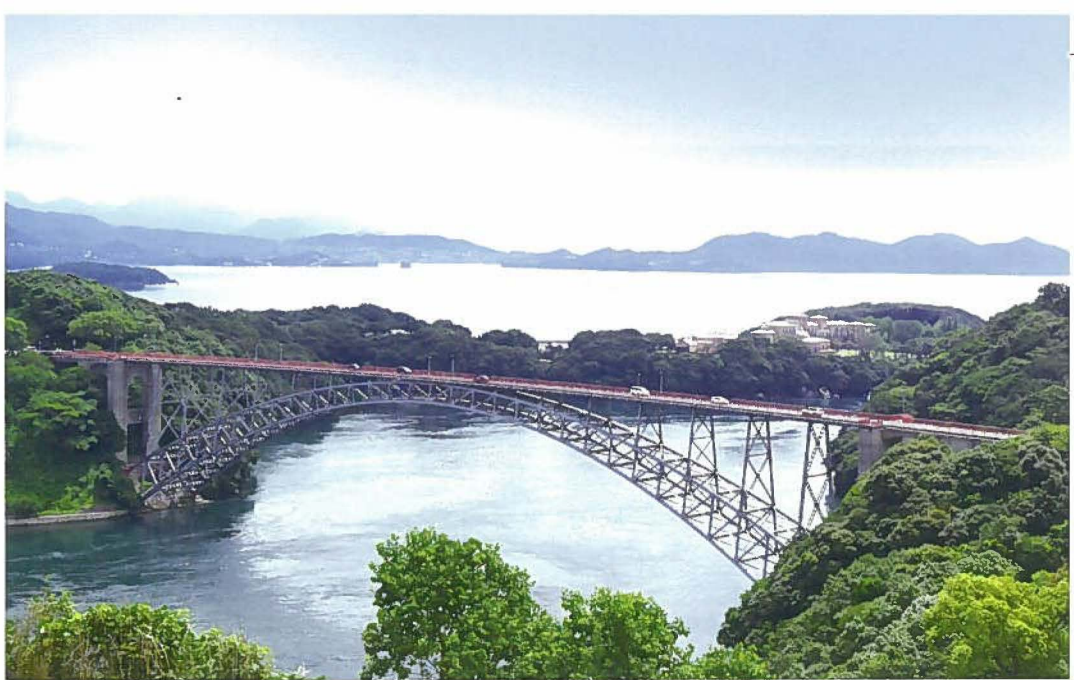


ながさき サンセットロードを往く

幾多の橋に結ばれた教会と歴史の道。
海山に受け継がれる水利と架橋の技。



10 西海橋 さいかいばし

異国情緒で語られることが多い長崎だが、現地を訪ねてみると…。
山河を律し、耕地を潤し、先人の知恵を後に受け渡していく暮らし。
厳しい自然と向き合いながら紡いでいく日々が、確かにここにある。

明治期の水道施設健在。

長崎自動車道「諫早」ICから国道207号を西へ走り、諫早市の多良見町舟津で県道33号へ左折。西肥バス「中通」バス停から左に入ると、JR長崎本線をくぐる。そこに道路をまたぐ**伊木力橋梁 1**と、川をまたぐ**山川内(袴川)橋 2**が並ぶ。築造はどちらも明治31年(1898)。放物線状のアーチを描く総石造りの鉄道用拱梁は、大変に珍しいものだという。

西九州自動車道「佐世保中央」ICから国道204号に出て北上。佐世保市の春日町交差点を右折して山手に向かうと、明治41年(1908)に建造された山の**田(貯水池)堰堤、溢流路 3**が、高さ24.5m、延長310mという雄姿を見せる。日露戦争直後、海軍増強にともなう水道施設の拡張で整備され、一部は今も現役で活躍中だ。

さらに、同国道を北へ。同市吉岡町で県道11号に右折し、ファミリーマート「佐世保妙観

寺店」前から右の山手に入る。幾度か折れ曲がり、西肥バス「十文野」バス停を過ぎた右手の森の奥に**岡本第二貯水池 4**がある。明治34年(1901)に竣工。湧き水を貯める直径約60mの円形貯水池は、同市でも初期の水道施設だ。

さらに、県道11号を北上し、妙観寺トンネル手前から右へ進むと、右下の谷に昭和15年(1940)に完成した重力式ダム**菰田(貯水池)堰堤 5**が現れる。延長は387.7m。高さは40m。戦前の水道用コンクリートダムとしては最高の規模だという。

“竹筋”の鉄道橋も活躍。

妙観寺トンネルを抜けて県道40号を北へ。途中、同市吉井町を流れる佐々川に優美な**樋口橋 6**が架かる。竣工は大正11年(1922)。石造りの2連アーチは橋長36m。皇居の二重橋を模したとされ、今も現役として機能している。

吉井町を貫く国道204号を西へ。同市佐々町役場の手前

から県道18号に移り、つづらダム方面に進むと、同市小佐々町の大西川畔に**西川内橋・護岸 7**が残る。両岸に続く空石積み護岸にも、単連アーチの石造橋にも、質朴堅牢な表情が漂っている。ここから西の海際へ。東経129度33分18秒に位置する神崎鼻は、日本本土最西端の地である。

前記の吉井町から国道204号を北へ。住吉の交差点から県道40号へ進むと、堂々としたコンクリート3連アーチの**福井川橋梁 8**に出会う。昭和17年(1942)、旧国鉄の鉄道橋として建造された。戦時中の鉄材不足のため、鉄筋ではなく“竹筋”だと推定されるが、今も松浦鉄道西九州線の橋として現役で活躍中だ。

この県道40号を北へ進み、左に折れた海沿いに、地元海産物が豊富にそろう道の駅「松浦海のふるさと館」がある。吉井町から国道204号を西へ走ると、平戸市田平町に道の駅「昆虫の里たびら」があり、巨大

なカブトムシの立体看板が人々を驚かせる。

伝承され、結実する技。

九州本土から平戸大橋を渡って平戸島へ。市街中心の平戸市役所前、両岸に石垣が続く戸石川に石造単連アーチの**幸橋 9**が架かる。元禄15年(1702)に架橋された国の重要文化財。壁面の石組み、曲線の石造高欄などが繊細で美しい。約400年前、この地にオランダ商館が開かれたとき、その石造建築に携わった石工の技術が伝承され、このアーチ橋に結実したとされる。だから、別名“オランダ橋”である。

ここから県道19号を西に走り、生月大橋を渡った左手にある道の駅「生月大橋」。海辺に散策路が整備され、開放感にあふれた眺望に心が躍る。このエリアで見逃せない土木遺産と言えば、日本の橋梁史に燦然と輝く**西海橋 10**だろう。JR「佐世保」駅前の国道35号を東南へ走り、田の浦町交差



3 山の田(貯水池)堰堤、溢流路 やまのた(ちよすいち)えんてい(いづ)ゆらろ



4 岡本第二貯水池 おかもとだいにちよすいち



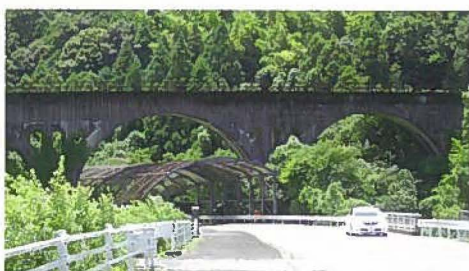
5 菰田(貯水池)堰堤 こもた(ちよすいち)えんてい



6 樋口橋 ひくちはし



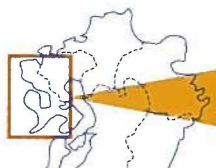
7 西川内橋・護岸 にしかわちほし(こが)ん



8 福井川橋梁 ふくいかわさよりよう

長崎県

- 松浦市
- 平戸市
- 佐世保市
- 西海市
- 諫早市



点から国道202号に入り、そのまま進むと、大村湾口に架かる真っ赤な長大橋が現れる。昭和の初めから建設が望まれた西海橋は、4年の歳月をかけて昭和30年(1955)に完成。最大支間216mは当時、東洋一の規模。最先端の橋梁建設技術は受け継がれ、後の長大橋に反映されていく。

同国道をそのまま走り、西海市の川内交差点で県道43号に左折して進むと、観光案内所を併設した道の駅「さいかい」がある。そのまま西へ走り、国道202号に出て南へ進むと、遠藤周作文学館に隣接した道の駅「夕陽が丘そとめ」と出会う。晴天には五島列島も眺望できる絶景が楽しめる。

今回、訪ねた長崎県西海岸の国道202号、35号、204号、383号などの周辺エリアは、美しい夕陽が見られる教会と歴史の道「サンセットロード」として人気を集めている。

道の駅「生月大橋」

道の駅「昆虫の里たびら」

道の駅「さいかい」

道の駅「松浦海のふるさと館」

道の駅「夕陽が丘そとめ」

道の駅「さいかい」

道の駅「夕陽が丘そとめ」

1 伊木力橋梁 いぎりきぎよりよう

2 山川内(袴川)橋 やまかわうち(はかまが)はし

9 幸橋 さいわいばし

土木遺産 in 九州のホームページアドレス
www.qscpuia.or.jp/dobokuisan/